

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	4				シート作成者		-	-
事務事業名	男女共同参画社会の実現に向けた啓発等推進事業			事務区分	自治事務	部課かい名	文化生涯学習部男女共同参画課	
事業の目的	講座の実施や情報誌を発行することにより、男女平等参画意識の啓発を図る。			事業の目標	固定的性別役割分担意識の解消や人権を尊重した男女平等に関する意識の高揚に取り組む。			
事業の概要	女性センターを拠点とした多岐にわたる意識啓発等事業の実施と情報提供、学習の場の確保と事業への市民参加の促進に向けた広報の充実を図る。							
対象	市民			事業の性質区分	定例・定型		業務計画	■
指標	講座等事業参加者数							
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)		
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
550人	598人	600人		625人		650人		
		27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください		
事業費	実施計画事業費	-	3,111,000	3,018,000	1,416,000			
	予算額	2,883,000	3,012,000					
	決算額	2,486,030						
	執行率	86.2%						
	従事者数	1.05	0.99					
	職員	0.6	0.29					
財源内訳	臨時・非常勤等	0.45	0.7					
	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
一般財源	2,486,030	3,012,000						

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<ul style="list-style-type: none"> ・国の目標「指導的地位に女性が占める割合を2020年(平成32年)までに30%にする」を市でも取り組むことが求められている ・女性の活躍に関することへのさらなる取り組みが求められている ・男女の平等感や固定的性別役割分担意識の割合が下がってきているので、さらなる周知啓発活動が求められている 	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	講座等事業参加者数は目標値を達成しているが、政策目標の「男女共同参画社会が実現していると思う市民の割合」は21年度より減少している。政策・方針決定過程への女性の参画では、第2次ちがさき男女共同参画推進プランにおける基本目標「男女がともに参画するまちづくりの推進」の指標である「市の審議会等における女性委員の割合」は、平成27年度の実績は28.9%となっている。総合計画のひとつの基本理念を推進するひとつの政策領域会議で所管する審議会等の女性委員の割合は28年4月1日現在で43%であるため、引き続きプランの目標値である40%の達成に向けて先導的に行っていくよう推進していくとともに、社会全体としては労働の場では男性中心の労働慣行が依然として根付いていることや、政策・方針決定過程への女性の参画は未だ低い状況にあるため、さらなる意識啓発と女性の活躍推進に向けた取り組みが必要である。
事務効率	男女共同参画推進センターを拠点とした講座の展開となるため、各地域へどのように広げていくかが課題である。講座の参加者は限られるため、効果的に啓発していくための検討が必要である。

事業成果及び事務効率に対する評価

成果があがっておらず、効果的かつ効率的な実施手法の再検討が必要

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の成果を高める	男性の家庭生活の参画やワーク・ライフ・バランスの実現に向けた啓発事業の開催など積極的に県との共催を図り、スケールメリットを活かし、講師謝礼の経費削減を図るとともに県内広域に事業周知できるというメリットも期待できる。また、公民館や他課との連携を図りながら、男女共同参画推進に関する事業の地域への展開も図っていく。

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]